

ISO 4333 -繊維製品上の花粉やダニ由来タンパク質等の減少度測定試験- とは

昨今の健康問題の一つとして、日本国内においてアレルギーに悩んでいる人が増加の一途をたどっていることが挙げられます。身近な例としては、ハウスダスト、ダニのフンや死骸、スギ花粉などの『由来タンパク質』が原因の症状に悩む人が急増し、深刻な問題になっています。厚生労働省の調べでは、日本国民の2人に1人は何らかのアレルギー症状で困っているといわれています。これまで各メーカーによる由来タンパク質に対する加工品や薬剤の開発、製品への導入が進められてきましたが、性能を客観的に評価できる試験方法がありませんでした。

このたび、繊維製品における由来タンパク質に対する性能を客観的に評価することができる国際規格 ISO 4333 が 2022 年 7 月に発行されました。

※ISO 4333 は人体に対する由来タンパク質の影響を評価する試験方法ではありませんのでご注意ください。

➤ 適用範囲

衣服素材、カーテン、布団カバー、糸、組紐、不織布マスクなどの繊維製品が対象です。

➤ 試験概要

由来タンパク質に対する加工を施した試験試料に由来タンパク質溶液を 2 時間接触させます。接触後に液を回収し、酵素結合免疫吸着測定法(ELISA 法)にて液中の由来タンパク質量を測定します。この測定値から由来タンパク質の減少度を算出します。

<由来タンパク質の一例>

由来	由来	由来タンパク質
スギ花粉	表層	Cry j 1
コナヒョウヒダニ	フン	Der f 1
ヤケヒョウヒダニ	フン	Der p 1



詳細は・・・

- ▶本規格に関するより詳細な資料(PDF ファイル/20 ページ)は、[こちら](#)からダウンロードできます。
- ▶バイオケミカルグループ [特設サイト](#)では様々な情報を発信しています。ぜひご覧ください。